

# 小合中学校区 CS 通信

令和 7 年 1 月 9 日 三校合同号

## 令和 6 年度 学校運営協議会合同会

11 月 28 日(木)、小合地区コミュニティセンターにおいて、小合中学校区三校合同の学校運営協議会が開催されましたので、その概要を地域の皆様にお伝えします。

### ◆内容◆

- 1 集中討議「小合地域の教育」  
～地域協働の可能性を探る～
- 2 フリートーク  
～きらめき運動から見える小合地域の子どもたち～  
～生徒指導面から見る小合地域の子どもたち～



### ■集中討議「小合地域の教育」～地域協働の可能性を探る～

6つのグループに分かれ「小合地域の教育」全般について広く考えてみました。いずれのグループも「かかわりを広げること」に注目し、どのようなことができるのかたくさん意見が出ました。また、これからどんな取組が必要なのか様々な意見が出ました。その中の一部を紹介いたします。

#### (1)かかわりを広げるために

- 日々の行事などでも関係を密にしていく必要があるのではないか。
- 学校と地域が連携し、子どもたちが地域行事に参加するよう、学校でも紹介してほしい。
- 子どもたちの感想や考えていることを地域に発信してほしい。各校の取組を花夢里等、外部機関で発表するなど、広く地域に発信する機会をもってはどうか。
- 地域協働を実現して行くには、子どもと地域の人々が接する機会をもつことが大切である。祖父母参観や、自治会長の卒業式、入学式の参列などの機会があると良い。
- 若い世代や子ども、いろいろな団体がつながる事が大切。地域の人同士が声かけをして仲間づくり。小さい輪を大きくしていく。
- こあいミラビで小合地域の風、流れがでてきた。
- 地域の行事が少ないので、地域発で行事の発案や発信が必要。
- 人と人をつなぐ小さいイベントまつりを行い、交流の場をつくる。
- サロン等地域行事に子どもが参加できるとよい。祭りや賽の神など伝統行事を続けていきたいが、人がいないので、それぞれの地域でやっていることをまとめて実施するのも良い方法。

#### (2)取組について

- 地域の防犯、安心、安全のレベルを上げる為にはあいさつ運動など小さな積み重ねが必要であり、学校との連携が大事になると思うので、これからも続けていきたい。
- 地域全体での防災の在り方を考えてみる(消防団・PTA・様々な団体)
- 地震や水害など災害が頻発しており、防災訓練も地域と学校で協働で行うと良い。
- 地域の方との交流により、地域の課題を見付ける(サロンやサークルの交流)
- 花や農産物などを利用し、スイーツの加工品などで地域の活性化を！
- 子どもたちが自分の育った地域に誇りを持ち、自信が持てるような教育を行うと良い。

## ■フリートーク「きらめき運動から見る小合地域の子どもたち」

小合中学校薬剤師の滝沢尊子様を講師にお迎えして、話題提供をいただいたあと、小合地域の子どもたちの健康面に焦点をあててフリートークを行いました。

◎話題提供:小合中学校薬剤師 滝沢尊子様

睡眠の役割、子どもたちの成長と睡眠との関係について、分かりやすくお話をいただきました。

小・中学生がよい睡眠をとるための4つのポイント(朝、日の光を浴びる・朝ごはんを食べる・昼間、体を動かす・夜、暗くして早く寝る)やそれを実行するために、大人としてやるべきこと、働き掛けなどを知ることができました。



### 【フリートークで出された意見】

- ・親がゲーム世代ではあるが、子どもと対等にゲームをするのではなく、親の良い姿を見せなければならない。
- ・土日は6時半までに起こすようにしている。家族全員で話をしたり、過ごしたりする時間を設けている。
- ・特に共働きの家庭の子どもは睡眠時間が足りていないようだ。
- ・大谷選手のように、興味をもてるものがあると、それに向けて頑張る(10時間の睡眠時間)。夢やなりたい自分が見付かるとよい。自己肯定感が向上するようなきっかけがあるとよい。
- ・子どもたちは、スマホやタブレットに夢中になっている。みんなネットでつながっているので心配だ。



## ■フリートーク「生徒指導面から見る小合地域の子どもたち」

各校の取り組みを紹介したあと、小合地域の子どもたちの生徒指導面に焦点をあててフリートークを行いました。学級や異学年内でお互いの頑張りや良さについて触れながら声を掛け合ったり、メッセージカードを用いて言葉のやり取りをしたりして各自の自己肯定感を高める等の対応策を講じているとの話もありました。

### 【フリートークで出された主な意見】

- ・学校と家庭、地域が役割分担をしながら子どもたちを見守るようにしていかなければならない。
- ・少子化が叫ばれる中であっても「地域全体で子どもたちを支える」という意識は大切になってくる。
- ・学校は、「課題」についても何らかの形で地域に発信することが必要だと思う。



以上、「学校運営協議会合同会」の様子を紹介いたしました。  
各学校は学校運営協議会をとおして、学校と地域が総がかりで行う教育を行ってまいります。  
ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

